

そ 育てよう！ 豊かなつながりを大切に

子どもは地域とのつながりの中で育てましょう。学校行事やPTA活動、地域の行事などに参加することで、子どもの外での様子を知ることができます。また、親自身も先生や他の保護者、地域の人たちと積極的につながり、子育てに生かしましょう。親の人間関係の広がり、子どもにとっても、地域の大人との豊かな関わりを広げます。



こ 心をつなごう！ 家族で言葉のキャッチボール

会話はコミュニケーションの基本です。子どもの言葉を、手を止め、目を見て、受け止めてあげましょう。会話を通して、子どもの「聞いてもらえた」「分かってもらえた」「認めてもらえた」という気持ちがふくらみ、親子の信頼関係も深まります。家庭での会話がいろいろな場面に生きてきます。



ぢ 小さな役割から始めよう！ 家族みんなが一人一役

子どもには家族の一員として、成長に応じた役割をきちんと与え、任せてみましょう。まずは簡単なことから始めて、たくさんほめて、できることを少しずつ増やしてあげましょう。頼りにされると、子どもの自己有用感、責任感、自立心などが育ちます。



か 感謝の気持ちを伝えよう！ 「ありがとう」が育む思いやり

「ありがとう」と言われるうれしさを実感すれば、人にも感謝を伝えられます。家族で、日頃から「ありがとう」と言って感謝の気持ちを伝えましょう。「ごめんなさい」も素直に言えるようになりたい大事な言葉です。心を込めた言葉は相手の心に伝わり、思いやりの心も育っていきます。



ら 「らしさ」を生かそう！ 「認めて・ほめて」がやる気の源

ほめられることは心の栄養になります。そのらしさを認めてあげれば、安心感とともに小さな満足感が生まれ、自分を大切にできるようになります。子どもが自分から「～したい」と言ったときがチャンスです。子どもの「自分でできた！」を大切にして、見守り励ましましょう。



！ わが家で話し合おう！ プラス1



家族が笑顔になるために大切にしたいことを、みんなで話し合ってみましょう。